

**2019年 春学期**

# **社会科教材論 第13回**

**最終的な成果物の作成(1)：**

**教材冊子アイデアの相互検討**

# 今日の授業の目次

## 【導入として】

今後の見通しについて  
今日の目的の共有

## 【展開】

- ・簡単な振り返り
- ・期末試験について
- ・冊子作成の見通しについて
- ・冊子作成資料に関する意見交換・検討

## 【まとめ】

- ・今日の振り返り

## 13・14回の授業の見通し

←(10月6日)

**第13回 最終的な成果物の作成(1):教材冊子アイデアの相互検討**

**第14回 最終的な成果物の作成(2):教材冊子の完成とリフレクション**

# 今日の授業の目的の共有

- **来週までにやってくることの見通しを共有すること**
- **最終的な冊子資料の提出に向けて、意見交換を行うこと**

# 簡単な振り返し

# 1～12回までの授業の振り返り

- シラバスを見て簡単に1～12回目の内容を齊藤が振り返ります。
- 齊藤の説明の後に、ペアの人と、お互いの印象に残ったことを共有してみたいと思います。(1分半程度)

# 期末試験について

# 冊子作成の見通しに ついて



# **【確認】この授業の最終的な目標**

- **全員の教材のデータが収録された冊子を作ります。**
- **編集作業などもしてもらいます。**



# 提出について

- 1. 7月19日(金)午前14時までにワードデータを齊藤 ([jsaitoh@tokai.ac.jp](mailto:jsaitoh@tokai.ac.jp))まで提出してください。提出に遅れた資料は印刷できません。) 短文でも必ず返信をしますので、返信が一向になければ再度連絡をください。**
- 2. 印刷は黒白で行います。**
- 3. 印刷の書式ですが、字の大きさなどは指定しません。ただ、余白に関しては、「上35mm、下30mm、左30mm、右30mm」にしてください。あまり極端にページの端まで書かないように。**
- 4. 余白が無くなって見えなくなったら自己責任でお願いします。**

# 次回の授業の流れ

- 1. 製本のプロセスを体験してもらいます。（最初の45分くらい）**
- 2. 製本した冊子を用いて、お互いに発表して貰います（4～3人一組のグループ内での発表・意見交換）。その際に、グループ内で、個人の発表時間は4分程度を想定しています。**
- 3. 残りの時間は振り返りとアンケートの記入です。**

# 製本について

今年は持続可能性（時間・金銭）を追究したので、ホッチキスで行います。

## 【手順】

1. 全ての資料を重ね、表紙等を重ねる。
2. ホッチキスで二点を止める。
3. 製本テープを貼る。
4. 端っこを裁断機で裁断し整える。

# 冊子作成資料に関する 意見交換・検討

# これからやって貰うこと グループ内での発表・意見交換

各自の掲載資料をよりよくするにはどうするべきかを意見交換し合う。

## 流れ（一人4分程度）

1. 3人程度のグループに分かれます。グループのメンバーに資料を配布します。
2. 順番に自分の資料について発表する。
3. 資料に対する感想を順番に全員が述べる。その際に、チャート図などを参考にすると良い。本人が何をしたいのかを聴き取るように心がける。
4. 発表者は他者からのフィードバックをメモする。

# 振り返りの時間

## 振り返り・記録シートの記入